

2022年1月19日

第三回花粉飛散傾向を発表 都道府県ごとの飛散開始と飛散量を予想
スギ花粉は2月上旬に飛散開始、2月下旬から広範囲でピークに
飛散量は北日本や北陸で2021年春より多く、西日本では少ない予想

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区 代表取締役社長:草開 千仁)は2022年の花粉シーズンを間近に控え、「第三回花粉飛散傾向」(スギ・ヒノキ、北海道はシラカバ)を発表しました。

2月上旬に関東や東海の一部、九州を中心とした西日本からスギ花粉の飛散が始まり、2月中旬には中国や近畿、東海の広範囲、また東北南部でも飛び始める予想です。飛散ピークは西日本・東日本の広範囲でスギ花粉が2月下旬～3月下旬、ヒノキ花粉が3月下旬～4月中旬の予想です。

飛散量は平年(過去10年平均)並となるエリアが多い予想です。2021年春と比べると、北日本や北陸で多く関東や東海では同程度、西日本では少ない予想です。特に、2021年よりも飛散量が多くなるエリアでは花粉症の症状が重くなるおそれがありますので、対策をしっかりと行ってください。

✓ポイント

1. スギ花粉は2月上旬から飛散開始
2. 飛散ピークはスギ花粉が2月下旬～3月下旬、ヒノキ花粉が3月下旬～4月中旬
3. 飛散量は北日本や北陸では2021年より多く、西日本では少ない予想

本プレスリリースの素材のダウンロード	「第三回花粉飛散傾向」の一般向けサイト
ウェブ版プレスリリース「第三回花粉飛散傾向」 https://jp.weathernews.com/news/38710/	ウェザーニューズウェブサイト「第三回花粉飛散傾向」 https://weathernews.jp/s/topics/202201/180235/

◆ 2022年「第三回花粉飛散傾向」

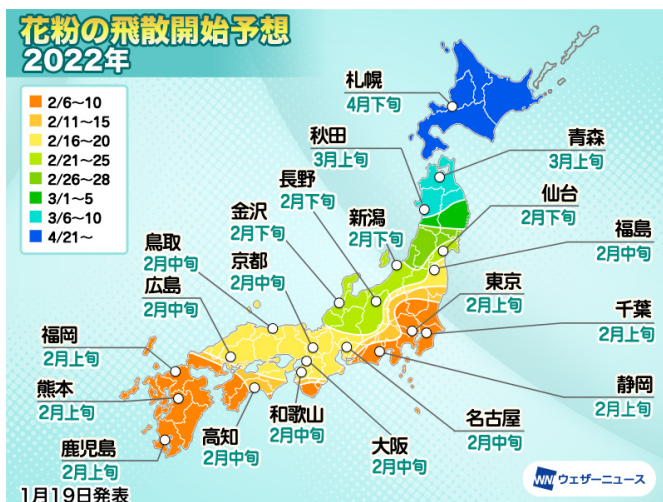
1. 飛散開始時期:スギ花粉は2月上旬から飛散開始

2月上旬に関東や東海の一部、九州を中心とした西日本からスギ花粉の飛散が始まり、2月中旬には中国や近畿、東海の広範囲、また東北南部でも飛散が始まる見込みです。2月下旬になると北陸、3月上旬には東北北部でも飛散が始まる予想です。

スギの雄花は冬の寒さを経験することで休眠から目覚め(休眠打破)、寒さがピークを過ぎて暖かくなると花粉を飛ばし始めます。この冬の気温は、2021年12月が概ね平年並、2022年1月はこれまでのところ北海道の一部を除いて

平年より低く推移しています。そのため、スギの雄花の休眠打破は十分に進んでいるとみられます。

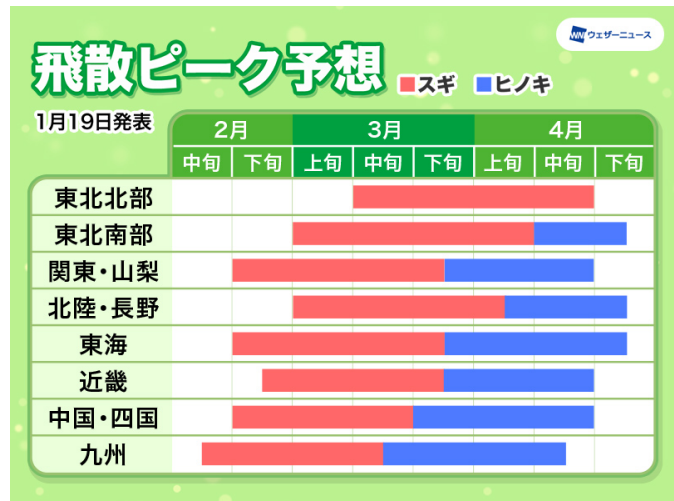
花粉の飛散に影響する2月の気温傾向は北日本で平年並か高く、東日本は概ね平年並、西日本は平



年並か低い予想になっています。最新の予想を踏まえて、西日本や東海の一部の飛散開始予想を 12 月発表から更新しています。

2. 飛散ピーク時期:スギ花粉は 2 月下旬～3 月下旬、ヒノキ花粉は 3 月下旬～4 月中旬

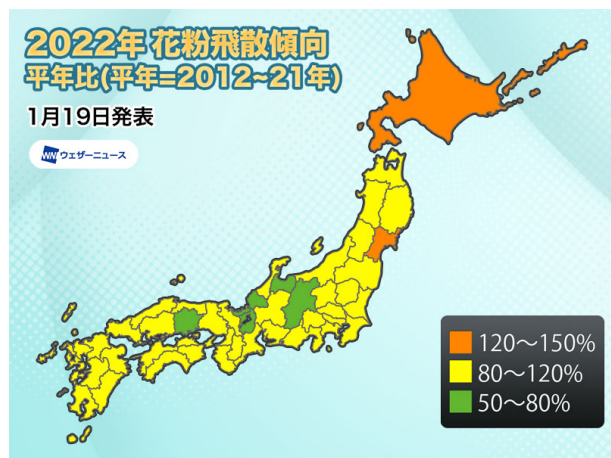
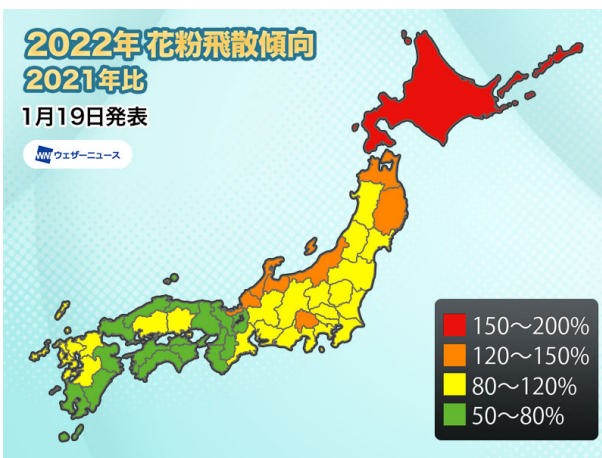
スギ花粉の飛散ピークは、九州で 2 月中旬～3 月中旬、中国・四国から関東では 2 月下旬～3 月下旬の予想です。北陸・長野や東北南部の飛散ピークは 3 月上旬～4 月上旬、東北北部では 3 月中旬～4 月中旬になるとみえています。昨年は暖冬の影響で飛散開始から本格飛散までの期間が非常に短く、飛散が開始してからわずか数日で大量飛散となることがありました。この春のスギ花粉の飛散ピークの時期は平年と同程度と予想していますが、気温がにわかには上がると期せずして大量飛散に至る可能性があるため、注意が必要です。



3 月後半に入るとスギ花粉の飛散は徐々に収まり、代わって西日本からヒノキ花粉の飛散が増えていきます。ヒノキ花粉の飛散ピークは西日本・東日本の広範囲で 3 月下旬～4 月中旬、北陸・長野は 4 月上旬～下旬、東北南部では 4 月中旬～下旬の予想です。ただ、北陸や東北南部ではヒノキが少ないため、スギ花粉に比べると飛散量が少なくなる見込みです。この春のヒノキ花粉の飛散ピークの時期は平年と同程度と予想しています。

シラカバ花粉が飛散する北海道は、道南・道央ではゴールデンウィーク前後、道北・道東では 5 月中旬に飛散ピークを迎える予想です。

3. 飛散量:北日本や北陸では 2021 年より多く、西日本では少ない予想



2022 年の花粉飛散量は、2021 年と比べると北日本や北陸で多く、関東や東海では同程度、西日本では少ない予想です。北海道では 2021 年比で約 180%、東北北部や北陸では 2021 年比で約 130%になる予想です。一方、2021 年に飛散量が多かった西日本では 2021 年比で約 75%になる見込みです。

平年(2012～2021年の平均)との比較では平年並となるエリアが多く、全国平均では平年の98%程度になるとみえています。ただ、北海道では平年比140%と多くなる予想です。

4. 2022年の花粉飛散量の予想の根拠

ウェザーニュースでは前年の夏の天候や年ごとの飛散量の傾向、アプリ「ウェザーニュース」のユーザーと共に行った雄花調査の結果などを総合的に考慮して、2022年の花粉飛散量を予想しています。

2022年の花粉飛散量の予想の根拠は以下の通りです。

① 前年夏の天候の実績

2021年の夏は北日本では日照時間、気温共に平年を大きく上回り、雄花の生長に適した天候であったと言えます。東日本では気温が平年をやや上回り、日照時間も日本海側を中心に平年を上回ったため、雄花の生育には問題ない天候だったと考えられます。一方、西日本では日照時間、気温共に概ね平年並から平年を下回り、雄花の生育にはやや不向きな天候となりました。

② 年ごとの飛散量の増減傾向

2021年春の花粉シーズンは北日本の一部を除いて飛散量が前年を上回り、ほぼ全域で「表年」となりました。2022年はその反動で多くのエリアで飛散量の少ない「裏年」となり、北海道や東北北部では飛散量の多い「表年」となる傾向にあります。

③ 雄花調査

2021年10月にアプリ「ウェザーニュース」のユーザーから募集した雄花リポートを集計した結果、雄花の数が「昨年より多い」や「昨年と同程度」という回答がより多く寄せられ、「昨年より少ない」という回答は比較的少なくなりました。

※本プレスリリースでは、以下のように定義しています。

天候の平年 : 1991～2020年の過去30年平均

花粉飛散の平年 : 2012～2021年の過去10年平均

花粉シーズン開始(花粉飛散開始):

独自花粉観測機「ポールンロボ」の3割以上が1日10個以上の花粉を2日観測。

また、アプリ「ウェザーニュース」のユーザーからの症状報告も加味しています。

◆ 都道府県別の2022年花粉飛散傾向

エリア	都道府県	花粉飛散量 (2021年比)	花粉飛散量 (平年比)	花粉シーズン 開始予想	花粉シーズン 終了予想
北海道	北海道	178%	140%	4月下旬	6月上旬
東北北部	青森県	124%	100%	3月上旬	5月上旬
	岩手県	138%	110%	3月上旬	5月上旬
	秋田県	115%	102%	3月上旬	5月上旬
東北南部	宮城県	114%	134%	2月下旬	5月上旬
	山形県	105%	119%	2月下旬	5月上旬
	福島県	105%	116%	2月中旬	5月上旬
関東・山梨	茨城県	95%	98%	2月上旬	5月上旬
	栃木県	99%	98%	2月上旬	5月上旬
	群馬県	115%	110%	2月上旬	5月上旬
	埼玉県	112%	103%	2月上旬	5月上旬
	千葉県	101%	102%	2月上旬	5月上旬
	東京都	115%	112%	2月上旬	5月上旬
	神奈川県	106%	104%	2月上旬	5月上旬
	山梨県	123%	84%	2月中旬	5月上旬
北陸・長野	長野県	119%	72%	2月下旬	5月中旬
	新潟県	130%	88%	2月下旬	5月上旬
	富山県	126%	75%	2月下旬	5月上旬
	石川県	149%	88%	2月下旬	5月上旬
	福井県	127%	75%	2月下旬	5月上旬
東海	静岡県	100%	91%	2月上旬	5月上旬
	愛知県	99%	91%	2月中旬	5月上旬
	岐阜県	118%	107%	2月中旬	5月上旬
	三重県	87%	108%	2月中旬	5月上旬
近畿	滋賀県	70%	73%	2月中旬	5月上旬
	京都府	71%	88%	2月中旬	5月上旬
	大阪府	70%	91%	2月中旬	5月上旬
	兵庫県	78%	81%	2月中旬	5月上旬
	奈良県	75%	83%	2月中旬	5月上旬
	和歌山県	66%	82%	2月中旬	5月上旬
中国・四国	岡山県	84%	77%	2月中旬	5月上旬
	広島県	81%	87%	2月中旬	5月上旬
	鳥取県	63%	91%	2月中旬	5月上旬
	島根県	60%	88%	2月中旬	5月上旬
	山口県	73%	100%	2月上旬	4月下旬
	徳島県	68%	94%	2月中旬	5月上旬
	香川県	65%	107%	2月中旬	5月上旬
	愛媛県	57%	104%	2月上旬	5月上旬
九州	高知県	60%	101%	2月中旬	5月上旬
	福岡県	109%	106%	2月上旬	4月下旬
	佐賀県	116%	105%	2月上旬	4月下旬
	長崎県	110%	108%	2月上旬	4月下旬
	大分県	74%	89%	2月上旬	4月下旬
	熊本県	85%	104%	2月上旬	4月下旬
	宮崎県	64%	82%	2月上旬	4月下旬
	鹿児島県	71%	105%	2月上旬	4月下旬
全国		94%	98%	—	—